

議 事 録

1. 会議の名称 令和6年度 第2回 男女共同参画推進計画策定検討
部会
2. 開催日時 令和6年9月17日（火）
開会 午前10時 ・ 閉会 午前11時50分
3. 開催場所 池田市役所6階 第2会議室
4. 出席者 《委 員》
※会 長：◎ ◎有澤委員、山本委員、藤田委員、西村委員

＜事務局職員＞
吉川主幹、瀬川主事
5. 議 題
 1. 開会
 2. 部会長あいさつ
 3. 計画素案についての説明
 4. 意見交換
 5. 閉会
6. 議事経過 別紙のとおり
7. 公開・非公開の別 公開
※非公開の理由
8. 傍聴者数 0名
9. 問い合わせ先 池田市 市民活動部 人権・文化国際課
(072) 752-1111 内線259
(072) 754-6231 (ダイヤルイン)
E-mail j-bunka@city.ikeda.osaka.jp

議 事 経 過

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 計画素案についての説明

—地域社会研究所より計画素案についての説明—

4. 意見交換

〈計画の体系、第3次計画の指標、基本用語〉

(会長)

「計画の体系」について、Ⅰ-2-①には「義務教育学校」が入っていて、Ⅱ-2-①には入っていないので統一してください。

(委員)

Ⅰ-3-②「思春期教育の推進」が新しく出てきたのですね。

(事務局)

「性教育」を「思春期教育」に書き換えました。健康増進課から、今は「思春期教育」の使用が多いことと、性教育の課題が全部思春期のことを書いているということ、子ども基本計画で「思春期健康教育」があって合わせると良いのではないかという意見があり、「思春期教育」としました。「性教育」が良いでしょうか。

(委員)

広い意味で「思春期教育」が良いと思います。

(委員)

千葉県松戸市でも「思春期教育」という言葉があり、そういう使い方に変わってきています。

(委員)

「思春期」の後ろに「性教育」が入っている所もあります。「思春期性教育」という本も売っているようです。

(会長)

「思春期教育」が良いと思います。

(委員)

心の問題もあるので、「思春期」は心も含める意味で広いように思います。

(委員)

IV-4「DV被害者の自立に向けた支援」に「②関係機関との連携強化」とありますが、IV-3「DV被害者の安全を確保するための支援の推進」にも「関係機関との連携強化」があると良いと思います。相談窓口の充実、情報提供、緊急時の安全確保の時には当然「関係機関との連携強化」があります。

(会長)

同じ言葉（「関係機関との連携強化」）が続くところが気になりますね。

(事務局)

自立に向けた支援の連携強化と、DVの安全確保の支援の連携強化では担当部署が違うので名称として間違っていないが、（同じ名称の施策が）連続すると誤植に思われるかもしれません。

(委員)

警察等との連携強化と、役所内部の連携強化があるので、2回あっても良いと思います。

(会長)

自立だけでなく支援にも必要ですので、両方に入ると良いのではないのでしょうか。

(委員)

それぞれの段階のことなので、両方入っていても良いと思います。

(会長)

支援も自立も、両方必要なので入れても良いと思います。担当部課は違いますか。

(事務局)

連携先は変わりますが、実施をするというか取りまとめをするのは人権・文化国際

課になると思います。施策内容の書き方は同じになるので、IV-4-②を再掲として載せられると思います。IV-4-②が「関係機関との連携協力」となっていますが、「連携強化」に修正をお願いします。IV-3にも「関係機関との連携強化を追加します。

(会長)

「第3次計画の指標」の「●」の所は直したのでしょうか。

(事務局)

基本課題Ⅲの「生活のなかで大切にしたいことが実現できている人の割合」の目標値を相談したく、「●」にしています。目標は「増加させる」かパーセンテージのどちらがいいでしょうか。

(事務局)

目標値は、10年計画ですので5年目で見直します。5年目に市民意識調査を同じ内容で行い、対象が変わってしまうので必ずしも同じとは限りませんが、パーセンテージを出すほうがいいでしょうか。

(会長)

パーセンテージを入れるにしても難しいですね。

(事務局)

まったく同じ人にアンケートをとるわけではないので、数値化は難しいという思いがあります。

(会長)

70%位がバランス的にどうでしょうか。

(委員)

「増加させる」もぼんやりしていますが、70%は厳しいと思います。

(会長)

「増加させる」で良いのではないのでしょうか。

(事務局)

基本課題Ⅱの「市職員のうち女性管理職の割合」は、今までは行政職のみの数字を第1回審議会で報告しました。第3次計画では行政職以外のすべての職種、医療職等

も含む数字です。目標値は「池田市特定事業主行動計画」を引用しており、課長級は達成していますが、（役職が）持ち上がると下も減るという意味で下がっている数字のままでも良いでしょうか。

（会長）

上げるほうが良いと思います。

（事務局）

基本課題Ⅲの「市男性職員の育児休業取得者率」も事業主行動計画の目標値である30%に合わせたいところですが、現在33.3%で（事業主行動計画の目標値を）超えているため、（計画の）作成時期が合わないため40%以上に設定しています。

（会長）

増やしていきたいという気持ちで良いと思います。むしろ、「市職員のうち女性管理職の割合」も少し上げると良いのではないのでしょうか。

（事務局）

何パーセント位でしょうか。

（会長）

せめて30%位に上げたいですね。次長級・部長級が増えたからといって課長級が減るわけでもありません。減らす目標より増やしていくほうが良いですね。

（事務局）

わかりました。

（事務局）

課長級は30%、次長級・部長級は14%を目標値とします。

（委員）

5%ぎりぎりじゃないでしょうか。4%上げるというのも難しいと思います。

（事務局）

育児休暇取得者率は、今まではひと月以上とか3か月以上とか目標に期間の定めがありませんでしたが、第1回審議会での、育児休暇を取得しても1週間や2週間というのはどうなのかというご意見を踏まえて「1か月」「3か月」を指標としました。目

標を高め設定しても大丈夫でしょうか。現状値から「40%以上」「60%」「40%」へ少し繰り上げた位の数字です。自治体によっては、国の水準や男女共同参画局の指標より高め設定し意識の高さを示しています。特定事業種行動計画にあまりこだわらずに設定したいと思います。

(会長)

良いと思います。

基本用語はこれだけあれば良いでしょうか。「メディア」は「メディアリテラシー」にしてはどうでしょうか。

(事務局)

確かに、「メディア」は大体わかりますね。

(委員)

セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス（DV）、ロールモデルの用語説明について「～たり」の表現が気になります。セクシャル・ハラスメントの3行目は、「立場を利用したり、性差別の上に成り立っていたりすることが多く」となり、ロールモデルの1行目は「将来像を描いたり、自分のキャリア形成を考えたりする際に」となります。DVは、3つの事例の後の「外出を制限したり、家族や知人と連絡を取らせない等」で、外出の制限をしたりの後ろの「、」をとるか「外出の制限」にしてはどうでしょうか。

(事務局)

カッコで全てくくりますか。例えば「経済的暴力」と書いて、後に「社会的暴力」と書いているので、外出の制限をそのカッコに付けたらどうでしょうか。

(委員)

外出の制限や連絡を取らせないことが「社会的暴力」です。

(委員)

「外出を制限したり、」の「、」を取ってはどうでしょうか。「外出を制限したり家族や知人と連絡を取らせない等の「社会的暴力」等があり」と文章がずっと行くといいです。「等」が続くので、「社会的暴力」等の「等」は取っても良いと思います。

〈第1章〉

(委員)

国内・外の動きについて、池田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度開始も 2022 年（令和 4 年）だったと思いますが、省略されたのでしょうか。

（事務局）

池田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制は男女共同参画とは別に扱っていることと、性的マイノリティの話と男女共同参画の話は水と油のようなところもあり、敢えて外しています。紐づいている条例も違います。

（委員）

基本課題Ⅰの「男女共同参画に関する研修・啓発事業への参加者数」について「研修」・啓発事業」の後ろに「＊」が付いていますが、減った理由を説明しているので、達成状況の所か 2023 年度の「573 人」の所に付けるといいのではないのでしょうか。

基本課題Ⅲの「父親向けの子育て支援事業への参加者」の減少はコロナと関係があれば、理由を書くの良いと思います。

（事務局）

開催回数自体もすごく減っています。直接的な理由はわかりませんが、おそらくコロナだと思います。

（会長）

参加人数が減ったのは会場が小さかったからではないでしょうか。

（事務局）

開催回数自体が減っています。また、研修事業は国の方針もあり、コロナ禍はキャパ数も半分と基準が決まっていたため、それまでは団体への案内時に 2 名以上の参加をお願いしていたところを 1 名にするとか、人数を減らしました。座席も、今まできちっと占めていたのを 1 つ空けなくてはならず、文化会館でも 200 人の定員を 100 人にしたりしました。令和元年からガクッと落ちているので、間違いなくコロナの影響だと思います。きちんと確認し、同じ理由だったら注釈を入れるようにします。

（委員）

基本課題Ⅲの「父親向けの子育て支援事業への参加者」がとても減っていますね。達成状況が「×」で今後増加させるとすると、コロナのせいもあるけど、人数は少ないが、その方や家庭に合った方法で、例えば 10 人で初歩からやったりとか、そういう研修をされたりしているから、それをどこかで表現できないのでしょうか。人数だけ見ると減っていて「×」になっているので、なかなか取組が希薄になっている感じがし

ます。

(事務局)

新たな目標には回数も入れていますが、達成のところでは考えられていません。表現というのは下に少し入れる感じでしょうか。記載はしたいですが書き方が思いつきません。回数自体がすごく減っていたのですが、原因がわからないので確認します。

(委員)

ある程度原因がわかったら、基本課題Ⅰの「男女共同参画に関する研修・啓発事業への参加者数」の注釈に、基本課題Ⅲの「父親向けの子育て支援事業への参加者」のことも付け加えてはどうでしょうか。おそらくコロナ禍の影響が多いと思います。

(委員)

目標値となると数値・量の問題になりますが、質のことを書くのは難しいですね。減少したけれど質を向上させたというような注釈があるといいですね。

(事務局)

第2次計画の目標値の表の表頭ですが、「2016年度（平成28年度）」「2023年度（令和5年度）」「目標値2023年度（令和5年度）」とありますが、計画を1年延長しているので、目標値は2024年度（令和6年度）です。第2次計画終了時の目標値ですので、「第2次計画の目標値」と書くほうが良いですね。

(委員)

そうですね。既に計画期間が終わっているのに「増加させる」は紛らわしいです。

(事務局)

目標値を「2016年度（平成28年度）」の前（左側）に入れると分かりやすいと思います。指標名との間に、第2次計画の目標値がこれ、平成28年度の実績値はこれ、令和5年度の実績値はこれという書き方で、達成状況がこなせているかという順番が分かりやすいと思います。

(会長)

それで良いと思います。

〈第2章〉

(会長)

「1. 計画策定の趣旨」にジェンダーギャップ指数の数値だけ書いてあり説明がありません。例えば政治的分野の数だったら女性議員の数が少ないので、政治的分野だと男女の人員格差があったり役職者が少ないのでなど、説明が必要だと思いました
が、かえってごちゃごちゃになるかもしれません

(事務局)

もっと詳しく書くほうが良いですが、あまりに長過ぎるなら最適な部分のみにします。

(会長)

政治分野と経済分野の指数か順位を入れるのはどうでしょうか。

(委員)

「2024 年の日本の順位が 146 か国中 118 位と低く、特に政治分野（○位）」という書き方はどうでしょうか。日本の順位が低く、特に政治や経済分野が低いと意識できれば良いと思います。全体で 118 位ですが、政治や経済分野ではもっと低いです。

〈第3章 基本課題Ⅰ〉

(委員)

－修正の要望等－

- ・12 頁2段落7行目 「障害の有無」を「障がいの有無」とすること。
- ・12 頁5段落4行目 「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）」の鍵カッコの前に中黒があるが、不要ではないか。

(事務局)

中黒に見えるのは「＊」です。用語の前に付けましょうか。

(委員)

「＊」の小さなやつなんですね、他の記載に揃えるほうがいいので、それは結構です。

(委員)

－修正の要望等－

- ・重点施策2のリード文「社会教育の場で」の1つ目の文中に、「平日の仕事をしている人等が」とあるが「等」は取ったほうが良い。
- ・重点施策2の施策の方向①「教職員の学習機会の充実」だが、パートナーシップの

基本計画の中で幼稚園やこども園は平和教育ということを書いている。例えば「保護者に対してあらゆる場を通して人権啓発を行っていきます」等、広い分野で書くほうが良い。教育の様子や「平和に関する絵本鑑賞会による啓発を行います」というと平和に重点を置くことはわかるが、男女平等やそれ以外の障がい者に対することを含めた形で保護者に対してあらゆる場を通して啓発を行います、行っていきますという表現が良い。

- ・重点施策2の施策の方向①「教職員の学習機会の充実」の学校教育推進課の取組について、「全学校園で年間計画に沿った人権教育を行い」とあるが、「行うとともに」に変更して欲しい。広い枠で人権教育の中に男女平等教育がある。

- ・重点施策2の施策の方向①「性別にとらわれないキャリア教育の推進」の学校教育推進課の取組について、「職場体験等のキャリア教育」では「勤労観・職業観を育み、自らの進路を切り拓いていくことができるキャリア教育を推進します」と、自分で進路を切り拓いていく表現にして欲しい。

- ・重点施策2の施策の方向②「誰もが参加しやすい環境の整備」について、「環境づくりの整備」にして欲しい。

- ・重点施策3の施策の方向②「思春期相談の充実」について、「児童生徒や保護者からの信頼関係を得るよう」ということで得ることも大事だが、「深めていけるよう努めます」にして欲しい。

(委員)

ー修正の要望等ー

- ・重点施策2のリード文の1つ目、「子育て中の男女、子ども、若者、地域活動団体役員」とあるが、役員だけ意識が低いように見えるので、「地域活動団体役員・構成員」として欲しい。

- ・重点施策2のリード文の3つ目、「市職員・教職員に対し」とあり、教職員に限定されているが、保育士等が入らないため教職員の種類を付け加えて欲しい。

(事務局)

市長部局を市職員といい、保育士は市長部局です。幼稚園教諭と学校の先生は教職員の扱いで教育委員会にあたります。

(委員)

市職員には看護師も入りますよね。

(事務局)

医療職も入りますし消防職とか、市長部局に入るものを「市職員」としています。

(委員)

そうすると、「市職員・教職員に対する情報発信・啓発」の担当部局は学校教育推進課ですが、幼児保育課は入らないのでしょうか。

(事務局)

「市職員」は人事課です。市長部局が人事課、教育委員会部局が学校教育推進課です。

(委員)

16 ページは本日の資料に全面的に差し替えですね。学校教育推進課が書かれたのですか。

(事務局)

そうです。

(委員)

「ウェルビーイング」は難しいですね。翻訳する言葉がないんですよ。

(委員)

重点施策3の施策の方向①「性差を踏まえた健康づくりの充実」に網掛けがしてありますが、意味があるのでしょうか。

(事務局)

健康増進課から「性差」が引っかかると意見があり、「性別に応じた健康管理の充実」にして欲しいと要望がありました。事務局で相談し、「性差を踏まえた健康づくりの充実」にしましたが問題ありませんか。身体的な性別と精神的な性別が分かれており、この場合は健康づくりなので身体的な性別の違いを表現したいのですが、良い言い方がないか悩んでいます。

(委員)

一人ひとりを大事にするなら「個性を生かした」とか「個性に応じた」でしょうか。男女関係なしに全部くくれると思います。

(事務局)

男性の体、女性の体、それぞれに合わせて健康づくりを充実しようというテーマなので、「性差」でと事務局では思っていたんですが、用語説明に「生物学的な性差（セッ

クス）に対して、社会的・文化的に付加された性差を「ジェンダー」という。」とあり、セックスになると思うのですが、そのまま「生物学的な性差を踏まえて」では少し長い気がしています。性差というと（セックスもジェンダーも）どちらも入ってしまいます。

（会長）

「男女ともに」ではどうでしょうか。

（事務局）

「性別に応じた健康管理の充実」はどうでしょうか。「性別に応じた」が男女ともにという意味合いです。

（委員）

「男女ともに、健康づくりに主体的に取り組めるよう」と書いてあるので、「性別に応じた健康管理の充実」が良いと思います。

（会長）

「性別に応じた健康管理の充実」が良いと思います。

（事務局）

ありがとうございます。

（委員）

学校教育推進課の表記が1行や2行になっているので、統一してください。

（委員）

教育センターもです。

〈第3章 基本課題Ⅱ〉

（委員）

重点施策1の施策の方向①「審議会等への女性委員の積極的登用」は全部局が「積極的な登用に努めます」、人権・文化国際課が「積極的な登用促進策を進めます」と表現が違うのですね。

（事務局）

全部局のほうは、各部局が持つ審議会等で女性委員を登用してもらうということで

す。人権・文化国際課のほうは他課が審議会等委員に女性を登用するよう促進するということです。

(委員)

－修正の要望等－

・重点施策１の施策の方向②「女性職員・教職員の職域拡大」の教職員課の取組について、「職域拡大や登用を推進します」を「職域拡大や積極的な登用を推進します」にして欲しい。よりしっかりとやっていくことが示せる。

(委員)

－修正の要望等－

・図表「各分野の管理職等並びに地域活動等で女性が占める割合（池田市）」について、PTA会長・小学校・中学校に０％とあるのは任意団体であり、男女比を出していないことを書いて欲しい。いかにも会長職が０％のように見えるので注釈が必要だ。

(事務局)

図表「各分野の管理職等並びに地域活動等で女性が占める割合（池田市）」の出典は人事課ではなく、当課が各課にヒアリングして出した資料なので、「池田市人権・文化国際課調べ」でお願いします。

(委員)

計画推進の指標について、「市職員のうち女性管理職の割合」の目標値は先程の審議を踏まえて変更になりますか。

(事務局)

変更します。

〈第３章 基本課題Ⅲ〉

(委員)

－修正の要望等－

・27頁３段落３～４行目「子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」をめざすべき社会の姿に～」は「～選択・実現できる社会」を、めざすべき社会の姿に～」として欲しい。

(事務局)

計画推進の指標に「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の認知」が抜けているので追加をお願いします。

(委員)

計画推進の指標の「生活の中で大切にしたいことが実現できている人の割合」は、「●」を「増加させる」に変更したら良いでしょうか。

(事務局)

はい、そうです。

〈第3章 基本課題Ⅳ〉

(委員)

－修正の要望等－

・36頁8行目「女性が日常生活を営なむ上で」の「営なむ」の「な」は不要。

(委員)

－修正の要望等－

・計画推進の指標「暴力を受けた際の対応について「相談したかったがしなかった」「相談しようと思わなかった」の割合は」の現状値は、それぞれの値が何を表しているのか明確にわかるようにして欲しい。目標値の「減少させる」もわかるようにして欲しい。

(会長)

重点施策1の施策の方向①「あらゆる暴力を許さない社会風土の醸成」の「風土」は必要でしょうか。

(事務局)

「社会の醸成」でも大丈夫です。

(事務局)

重点施策2の施策の方向にも「関係機関と連携強化」を入れるということで、取組は「DV情報の共有」、「状況に応じた対応」、「関係機関やネットワーク組織の連携強化」でよいでしょうか。

(委員)

入れると良いと思います。

(委員)

ー修正の要望等ー

・重点施策2のリード文の2つ目の2行目に「DV被害を未然に防いだり被害の早期発見につなげることができる」は「DV被害を未然に防いだり、被害の早期発見につなげたりすることができる」にする。

(委員)

重点施策5の施策の方向③「在住外国人等の生活支援の充実」に「多言語による情報提供の充実」とあるが、何語で提供しているのでしょうか。

(事務局)

ベトナム語、インドネシア語、スワヒリ語、マレーシア語、韓国語、中国語等です。タブレット式で、通訳者をつなぐサービスを契約しており、窓口に来られた場合はタブレットを貸し出しています。例えば、ベトナム語と日本語が話せる方をつないで、タブレットを置きながら話して通訳するというやりとりをしています。多言語スタッフはダイバーシティセンターに何名かおり、時々通訳もしています。タブレットは6か国語だけではなく結構な数の言語が可能なので、広く対応できます。「くらしの情報」は、英語、中国語、韓国語、インドネシア語版があります。

(委員)

国勢調査の小地域集計で池田市に外国人が何人くらいいるか、どこに住んでいるかというのがわかります。神田、石橋、井口堂の辺りに住んでおられ、その言語のできるのか気になりました。

(事務局)

何人外国人がいるというのはダイバーシティセンターに伝えられており、それに合わせてやっていると思います。毎月人口統計を出すときに外国人が何名いるかダイバーシティセンターが情報収集をしていて、上位3位くらいは強化しようと、24時間対応できるようにしています。その点に関しては言語の照会はしやすいと思います。

(委員)

結構多くなってきましたね。学校給食センターの話ですが、牛乳提供だそうです。イスラムの子たちは豚肉を食べられません。今安いのは豚肉、チキンが多いので、そういう話を聞きます。ゆくゆく池田にもイスラム系の人が増えていくのは十分考えられます。一体何人に牛乳を提供しているのか明日の会議で聞いてみます。

(会長)

池田市では何語に対応しているか書きますか。

(事務局)

状況がわからず、変わる可能性もあるというか。圧倒的にインドネシアとマレーシアですね。

〈第4章〉

(委員)

－修正の要望等－

・「2. 計画の進行管理」について。達成していないことに対して、評価みたいな改善を求めるところまで書くのか。報告と公表だけにするのか、例えば「審議会等が達成状況に応じた評価を各課に通達し改善等を求めることにします」というところまで書いて良いと思う。0の所（女性のいない審議会等があること）が続くことに対して、審議会として改善を求める姿勢を示したい。」

(会長)

「改善するよう求めています」とひと言書いておきましょう。

(委員)

（女性委員のいない審議会が）増えていくことになる残念なので、「改善するよう求めています」とひと言書いても良いと思います。本来は市長からトップダウンや議会とかそういうことが動くような体制なり姿勢が出てこないといけません。相変わらずこの委員はどうして決めたのか聞くと、「議員さんの推薦とか、議会の何とか」と。本当にあの辺りから変えていかないとはいけません。数値目標はありませんが、女性議員の登用の目標数みたいなのもこれからは書いていかないとはいけません。

(事務局)

議員は選挙で選ばれるので、私たちがどうこう言えないところもあります。

(委員)

市民のジェンダー意識が高まって、議会にも女性をいっぱい送らないとダメだという意識が出てくると良いですね。本来はそういう力になるべきです。数値目標にそういうものがあっても良いと思う一方、難しいと思います。少なくとも男女共同参画の審議会では、そういうことに対して一応もの申すことを、進行管理に一文ぜひ書いてもらいたいです。

(事務局)

パブリックコメントは市民に関わらず全国から提出する方もおり、12年前のパブリックコメントを見ると関東からずいぶん意見があったようです。当時有澤先生に回答について相談させていただいたものもあります。パブリックコメントの際にご意見頂くこともあるかも知れませんが、よろしくお願いします。

5. 閉会

(事務局)

次回の審議会は10月17日15時からです。以上で第2回計画策定検討部会、終了致します。本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございました。

—閉会—